



メラだより

夏まつりに遊びに来たみんな



仲間・生きがい・健康をつくる 市民ボランティア活動センター(6月13日)



介護予防の体操や茶話会などを行い、地域の輪を広げる居場所づくりをする地域サロン団体。その団体の活動事例発表や交流会を行うサロン見本市が開催されました。サロン関係者で活発な意見交換がされ、参加者は「このような場で人脈作りをし、工夫しながら活動をより一層活性化させたい」と話していました。

大人気！刈谷のすいか朝市 JA産直センター刈谷北部(6月17日)



今年で8年目を迎えるすいか朝市。生産者が畑より直接トラックで会場に運んだ採れたてのスイカを試食しながら購入できるため、多くの人でにぎわいました。

今年は小玉スイカ、大玉スイカ合わせて約1,100個用意されましたが、わずか1時間ほどで完売。特に刈谷特産の黄色い小玉スイカは子どもたちにも大人気でした。甘くて見た目も鮮やかな刈谷のスイカを、ぜひ一度食べてみては？

明るく住みやすいまちへ 刈谷駅・刈谷ハイウェイオアシス(7月2日)



犯罪や非行のない安全で安心な暮らしを目指す「社会を明るくする運動」。7月が強調月間であるこの運動を多くの人に知ってもらうため街頭啓発活動が行われました。保護司、更生保護女性会員、協力雇用主会員など約200人がリーフレットなどの啓発物品を配布し、地域社会の理解と協力を呼びかけました。

福祉車両がやってきた 刈谷特別支援学校(7月4日)



刈谷市で社会貢献をしたいという思いから、創立60周年を迎えた株式会社CNKより福祉車両が寄附されました。贈呈式の後には、生徒たちがどのように学校生活を過ごしているかを見学しました。神谷校長は「肢体不自由の生徒たちにとっては移動手段が大きな課題となっている。それを少しでも解消することのできる有効な手段となる物。とてもありがたい」と話しました。